

# KAWAI CULTURAL MUSEUM

## 川井村北上山地民俗資料館

資料館ニュースNo2. 1995年10月1日発行

下関伊都川井村大字川井2-187-1 TEL0193-76-2111(内線83)



### 北上山地のコウモリ

\* 4月29日、資料館では北上山地のコウモリと題して企画展がスタートしました。初日には宮古市在住のコウモリ研究家として名高い遠藤公男先生が記念講演を行いました。川井村で見つかった珍しいチチブコウモリの話を中心に熱心なお話に聴衆一同聞き入っていました。現在チチブコウモリは常時展示しています。



# 岩手大学博物館学講座の館務実習から

7月21日～23日の3日間、資料館では岩大の学生による実習が行われました。これは博物館等の学芸員資格取得に必須の実習で21名の学生が資料整理の実務や、民具の使用手法、製作工程などを熱心に勉強していました。22日には村内で実際に民具を使っていた方々の協力により、実演や聞き取り調査を行いました。学生達は豊富な資料と独特の展示手法に認識を新たにした様子でした。



▲資料の聞きとり実習のようす。

## 青年塾との交流も。

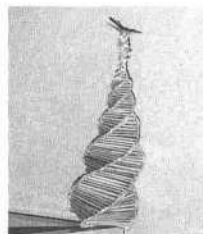
22日の夜には会場をタイマグラのバンガロー村に移して川井村の青年塾の皆さんと学生の合同研修と交流会が行われました。力を合わせてカレーライスを作った後は講義。名誉館長の名久井芳枝先生が〔若者と民具〕について、名久井文明先生が〔樹皮文化と民具〕について分かりやすく話してくださいました。

▼早朝のバードウォッチングもしました。



## 竹笛と虫かごに人気

— 韓国の子供たちが資料館を見学 —



七月二十七日には韓国から川井村に交流にやってきた、釜山教育大学附属国民学校の皆さんが資料館を見学しました。  
子供たちの人気を集めたのは実演コーナー。奥畑正宏さんの作る竹笛、智穂さんのフェルトの野菜、そして古館利美さんの麦わらで作る虫籠を見て、見よう見まねで挑戦している子もいました。

## 川井村北上山地民俗資料館利用状況

平成7年9月30日現在

	川井村北上山地民俗資料館									図書利用状況			合計	
	個				団				公用	小計	図書	A V		小計
	一般	学生	児童	免除	一般	学生	児童	免除						
3月迄の計	591	23	98	2,097	100	0	69	295	77	3,360	789	745	1,544	4,885
4月	156	9	20	0	10	0	0	0	40	235	118	121	239	474
5月	153	7	39	3	0	0	0	15	0	217	48	45	93	310
6月	108	1	12	7	332	0	0	33	4	497	76	72	148	645
7月	168	3	6	10	165	0	8	3	46	409	140	110	250	659
8月	279	19	66	0	91	15	0	38	23	469	136	155	291	760
9月	187	7	16	20	273	0	15	63	0	544	109	128	237	783
累計	1,642	69	257	2,137	971	15	92	447	190	5,731	1,416	1,376	2,802	8,516

# 「北上山地の樹皮文化」展

平成7年

10月15日(日)～  
12月17日(日)

## 企画展示室

●スタートの10月15日午前10時から名久井文明先生の講話と解説があります。

私達の村はその97%が山林で占められています。その豊富な山林にあった樹木の皮は古くから生活の道具に加工されてきました。資料館に収蔵されている樹皮製品と、新たに収集した民具をあわせて展示します。古くから伝わる伝統の技をご覧ください。

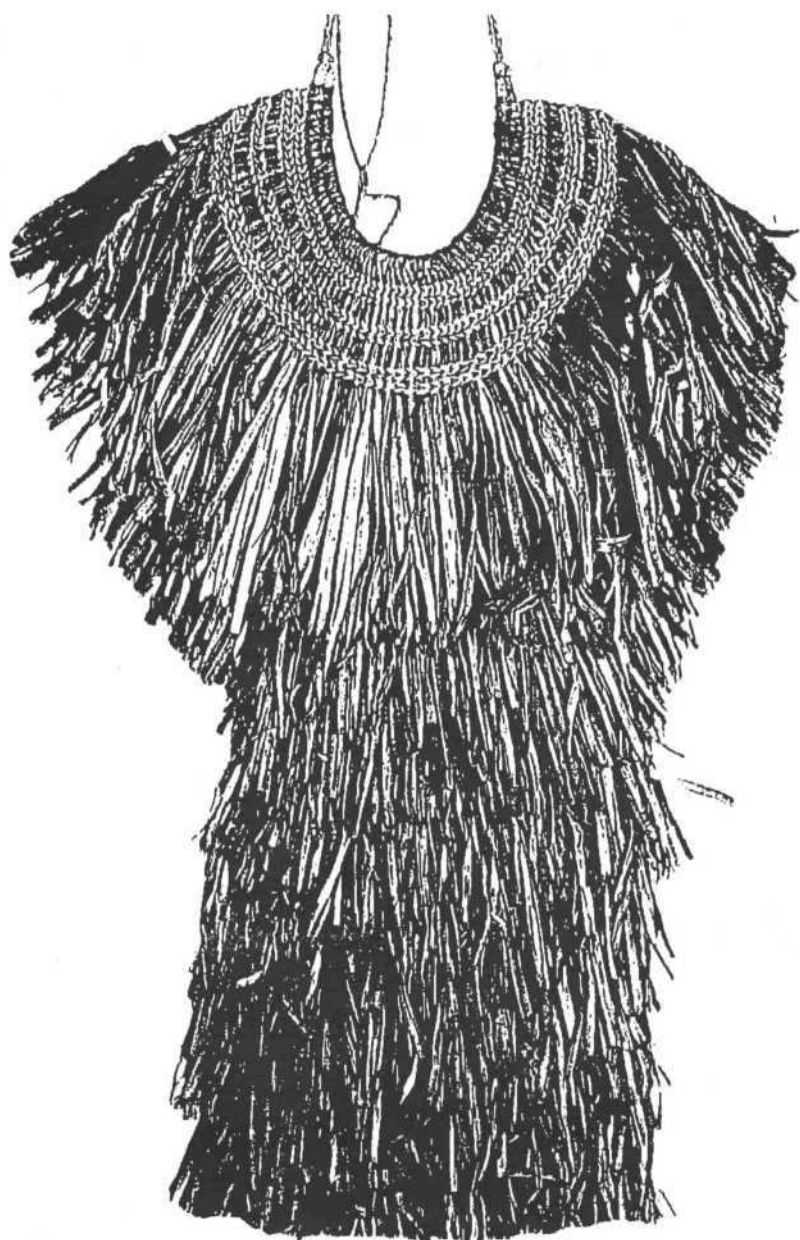
## ■企画展には入館料が必要です。

大人 200円 (100円)

学生 150円 (80円)

小中学生 100円 (50円)

( )内は10名以上の団体料金です。  
学校などで見学の場合免除制度もありますのでお問い合わせください。



みの

## 「樹皮製品」を探しています。収集にご協力を！

○あなたの身の回りに眠っている樹皮製品はありませんか。全部が樹皮でなくても、民具の一部に木の皮が使用されているものも含みます。

提供可能な方は資料館またはお近くの文化財調査員までご連絡ください（今回の展示だけに貸してもらえるものでも結構です）

# 岩手県青少年伝統芸能発表会

日時 平成7年11月5日 午後1時～午後3時  
(会場)川井村山村開発センターホール

入場無料



解説 門屋 光昭氏

(盛岡大学教授)

司会 井上 恭子氏

(FV岩手なま出展中)

## (出演団体)

●田代念仏剣舞／末角笠踊り(岩泉町中島七ツ舞)ほか

沿岸各市町村青少年郷土芸能団体を予定しています。

主催 岩手県教育委員会／岩手県文化財愛護協会／川井村教育委員会

●お問い合わせ先 TEL0193-78-2111(内線83)

# ウッディミュージアム構想まとまる。

## デスカバリートレイルも完成しました。

資料館に入りきれなかった樹木などの展示を、その場で生きたまま保存展示しようとする「ウッディミュージアム」構想がまとまりました。これは、資料館を中核として村内の各施設をサテライト（衛星博物館）として位置づけ豊富な樹木群を保存育成しながら解説を加えていこうとするものです。今回まとめたのは基本的な方向づけをする構想で、実際の計画はこれから数年をかけて調査研究して樹立することになっています。本格的な事業実施は21世紀の100年間という崇高な構想となっています。

その中でも、まず着手されるのがデスカバリートレイル（発見の小道）事業です。村内数カ所が候補に上っていますが、そのモデルとして資料館の脇の森に第1号のトレイルが建設されています。樹木の中を進む延長400mほどの遊歩道ですが、途中には川井の歴史的な施設である秋葉神社があります。また終点の近くには蒼前神社があり自然と文化の両方に接することができる小道となります。具体的な説明板の整備はこれからですがぜひ一度歩いて見てください。新しい発見があるかもしれません。なお、このウッディミュージアム構想のパンフレットは資料館にありますので参考にしてください。



## 昔通りの機織りを再現

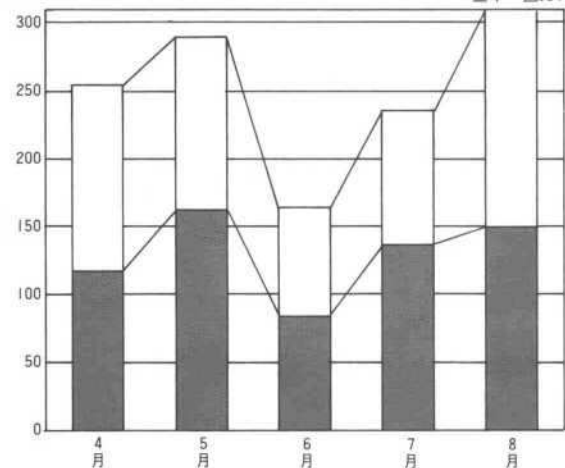
現在、資料館の実演コーナーでは昔通りの機織りを再現しています。実演者は尻石の山口リキさんです。山口さんは収集された糸の中から使用可能なものを選別して市松模様の帯と黄色い伊達巻きを完成させました。全て昔通りの手法によって織り上げました。実演は土曜、日曜の午前10時から午後3時迄。興味のある方は見学にお越しください。また、自分も実演してみたい方も歓迎します。資料館で自分だけの織物を作ってみませんか。

## 岩手県生涯学習情報ネットワーク 10月から試運転開始！

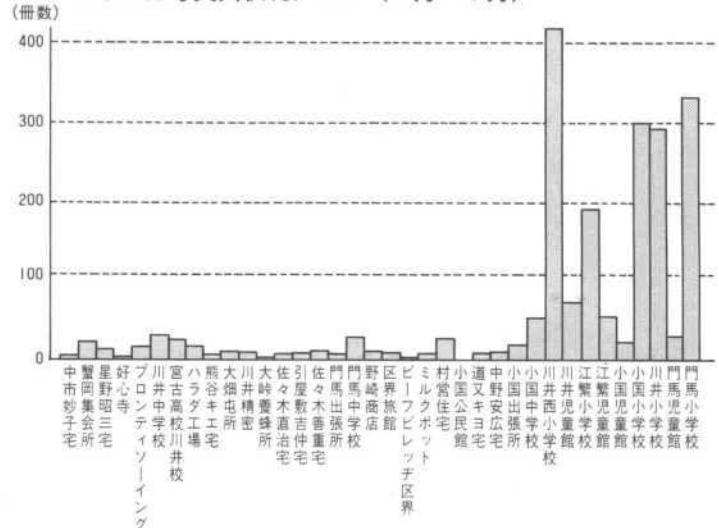
資料館図書室に村民の皆さんが生涯学習に関する情報を入手できるパソコンが設置されました。これは岩手県が提供する情報をオンラインで結び講師やイベント、講座などの情報を取り出せるもので、県下第1号でのスタートとなります。ご利用をお待ちしております。



図書室貸出統計表



しらかば号貸出状況グラフ (4月~8月)



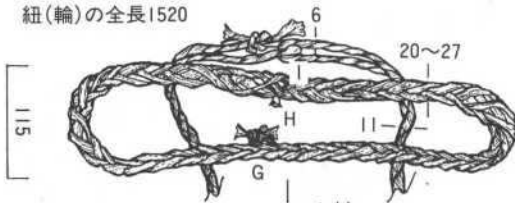
費料名 つかり  
 旧所有者 水無辰巳(83歳1912年(明45)生)  
 製作者 水無辰巳  
 製作地 川井村江黎 自宅のにお(作業場)  
 製作年代 1995年6月  
 材料 クルミの樹皮 雑木の枝 アサのロープ  
 使用年代 新品(製作工程実演用参考資料)  
 使用方法 男女を問わず背中に背負う  
 作図者 名久井芳枝

当資料館では、1995年6月25日に水無辰巳氏のご協力を頂き「つかり」の製作工程を演示しました。ここに紹介する資料はその際に展示された参考資料です。

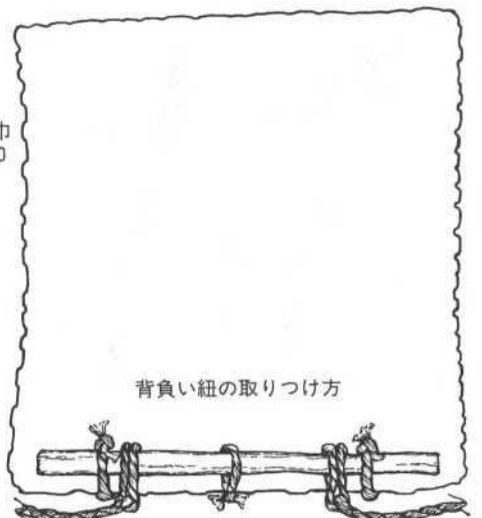
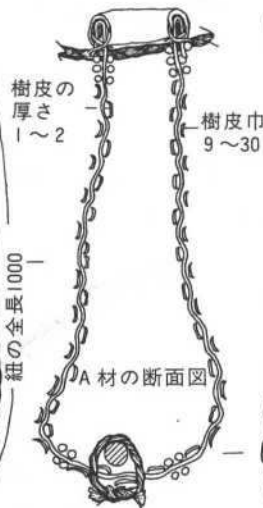
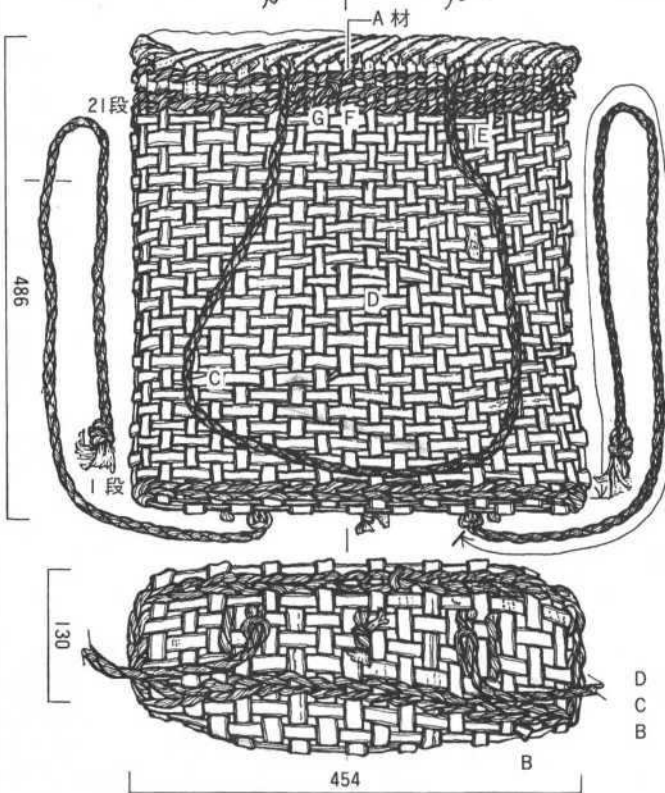


つかりを製作する水無辰巳氏

紐(輪)の全長1520



- I 口縁部始末(組み終り)
- H 口縁部始末(組み始め)
- G 口縁部始末(編み終り)
- F 口縁部始末(編み始め)
- E 組み芯21段(終了)



- D 組み芯, 補充部分
- C 組み芯, 補充部分
- B 組み始め(組み芯1段)

☆実測図の中で工程の解説をする際、編組技術を示す呼称及び部分名称等については、製作者あるいはその地域で使用されているものを優先しています。特定の名称が無い場合は単に構造の解説にとどめています。

●単位はミリです

私達が想像する以上に、「つかり」は生活に深く溶け込み、生活の根っこの部分で人々を支えてきました。いつも人の背中で過ごしていたつかりは、どんな山の人生を見詰めていたのでしょうか。それぞれの背中のぬくもりは、喜びや悲しみや怒りを、ありのまま「つかり」に伝えていたに違いありません。

☆水無辰巳氏のお話を元に構成しました。

(当館名誉館長)

つかり

名久井芳枝